

上意東 研修センターだより

令和三年十一月一日

178号

発行責任者
上意東地域づくり協議会会長
森廣光彦

東出雲おちらと村
0852-52-7888
(FAX兼)
Mail: ochirato@heia.ocn.ne.jp
ラインID
ochirato



上意東の5地区荒神さん見て歩き

上意東地区では、10月になると各地区荒神祭が行われます。

まいと(藁蛇)は、農耕の神、牛の神として荒神に収穫を感謝するもので、稲わらで作られた巨大な藁蛇と大量の幣束を製作し、荒神に供える点が特色です。各地区それぞれ形に違い

があり興味深いです。へびは、水神の化身ととらえられており、水が無くてはならない稲作と結びついた豊作祈願や感謝の民俗行事です。5地区それぞれの荒神は、江戸時代後期の古文書に詳しく記されておりその歴史はかなり古いと推察できます。

古来より恐れられたものに天変地異、異常気象、疫病の流行があります。昨今の大雨や感染症の拡大から、先人たちが神々に祈ったことが荒神信仰から読みとれます。

※注 荒神さんは地区の神聖な空間です。参拝の際には、おさい銭、拝礼(2拝2拍手1拝は)必須です。伝統の造形は必見です。



下組の荒神

タブの大木に数周巻きつけてあります。舌は小さな藁で作られており、象徴的です。あたりは古木の宝庫で、モチノキ、カゴノキなど古樹が大事にされており、数百年前の原生林の様子を今に伝えています。神秘的な空間です。幣は体に挿してあり、美しく見えます。



畑の荒神

山中、水源の地、巨岩の下に小祠に巻きつけてあります。しめ縄で決界が設けられています。瓦けに「おぼく」ワラスボに「すとぎ」が神饌されています。巨岩が信仰とつながっているようです。幣は和紙で包み美しく束にして奉納されています。拝殿から御拝礼下さい。



高庭の荒神

岩崎神社の境内に鎮座しています。鳥居のりっぱな注連縄の奥にある椎の老樹に巻きつけてあります。斜面になつており、見あげる姿はとても大きく見えます。丁寧な造りで御神木を包み込むような造りは、神社の御神体の巨岩との対比が興味深いです。



中組の荒神

シイの大木の周囲に2体の藁蛇を頭を前にして、突き合せて地面に這わせてあるところが特徴です。2体は雌雄を表現しています。体にはたくさんさんの幣で飾られており、とても派手な姿で、神秘的に見えます。



奥組の荒神

口を幣で開き叫んでいる姿に作られています。何かに巻き付けるのではなく、ドクロを巻いたようにして小祠の後ろに鎮座しています。市穂神社の境内に「地荒神」、山中に「牛荒神」として2体奉納します。

濱田幸介さん 日本伝統工芸展で、12回目の入選。



作品は、櫛造拭き漆(けやきづくりふきうるし)盛器で、やや黒がかった重厚な作品です。材料は、作業場で5、6年ながめていたもので、何にしようか考えていたそうです。直計40センチ高さ8.5センチ。

上意東の芸術家このごろ 入魂の作品

安部宏さん市内のギャラリーで、作品展を開催



今回のテーマは、「注ぐ器」で、湯のみ、ピッチャー(みずさし)、土瓶など思いつくままに制作した作品を展示。「若い方々にに來場いただきにぎやかな秋の催しとなった」との事でした。

10月15日光明真言法会で、勤修されました。お参りは流れ焼香での先祖供養となりました。



感染症拡大の中の先祖供養の形 乗光寺

あたらしい形の法事 年忌法要をパソコンで中継

コロナウィルスの感染が心配されるこのごろ、年忌法要をお彼岸の一日、画面を見ながらの法事を行いました。久しぶりに画面に映る親戚縁者の顔を見ることができうれしく思いました。遠くの親戚は、

久しぶりに住職の読経や法話を聞き、感激的な供養となりました。県をまたぐ移動が制限される中、乗光寺さんには全面的なご支援をいただき感謝の一言です。

畑地区檀家 Mさんより

揖屋小学校5年生 上意東の田んぼで稲刈り 青空のもと貴重な体験

松江市立揖屋小学校5年生(56名)の「稲刈り体験学習」を行いました。

午前中空模様心配でしたが、体験時間の午前中は天候にも恵まれ、予定通り実施できました。

最初に、一人5本ずつ「ヨリづくり」を行いました。スタッフの応援でなんと、スタートの応援でなんと

松江市立揖屋小学校5年生(56名)の「稲刈り体験学習」を行いました。午前中空模様が心配でしたが、体験時間の午前中は天候にも恵まれ、予定通り実施できました。

最初に、一人5本ずつ「ヨリづくり」を行いました。スタッフの応援でなんと



サロンの記念撮影



地域の皆様にヨリないを学ぶ



どんどん刈り進んで運ぶ



新米を配布

第7回 上意東・八雲・玉湯・宍道・忌部地域間 連携円卓会議開催

10月16日、忌部小学校に於いて、新型コロナウイルス対策で内容・参加人数を絞り開催され、上意東から3人が出席しました。



講演会の様子

宍道正年氏(日本考古学協会)の「古代史から忌部を知る」忌部神戸の新発見『玉の森の再評価』と題して講演があり、古墳時代(4〜7世紀)に玉(メノウ)作りを通じ古代出雲とヤマトを結んだ重要な場所であったとの説明がありました。

講演後、忌部神社、玉の森古墳などを見学し、往時の繁栄に想いをはせました。

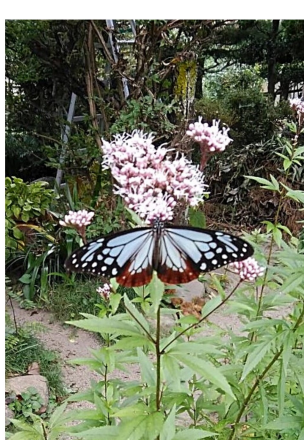
次回は玉湯地区で開催の予定です。

(上意東地域づくり協議会 会長 森廣光彦)

連載企画 第43回

上意東に生きる動物たちも私たちの仲間だ アサギマダラに秋を感じる

テレビの報道で、フジバカマとアサギマダラの話を見られた方がおられると思います。フジバカマは秋の七草のひとつですが最近ではほとんど目にすることができなくなっています。10月になると中旬からこの花の蜜を好む「アサギマダラ」近隣種のヒヨドリソウがあ



蜜を吸うアサギマダラ

サロンの記事を次回11月に計画しております。「料理教室」の内容等につきましてご希望がありましたら、「おちらと村」まで、ご連絡頂きますようお願い致します。

寄せ植え作り体験開催

10月20日(水)、おちらと村で寄せ植え作り体験が行われました。JAグリーン津田の方に、寄せ植えのコツや水やりの仕方を教えて頂きながら、終始和やかな



苗を植える参加者の皆さん

雰囲気教室が行われました。

上意東の行事予定

- 11月 3日(水) 親子で柿の皮はぎ体験
- 27日(土) 秋の里山を歩く ● 農業祭中止
- 12月 9日(木) 12日(日) ミニ門松作り体験

9月の出来事

- 5日(日) 京羅木山ハイキングコース整備 ● 23日(木) 京羅木山山城探訪ツアー

【参加者募集】

- 11月27日(土) 秋の里山を歩く 出雲金刀比羅宮へ 八雲町別所へ 9時半 おちらと村集合 参加費100円(保険料)

※詳細はおちらと村へご連絡ください



NPO法人かみいとう 保健福祉部からのお知らせ サロン会開催のお知らせ